

XLAP2A-Z1J3-01

必修テーマ【漢文】

漢文読解の急所 文法実力診断

テーマを学ぶ意義

■ 句形の知識は基本中の基本！

いくら英単語を覚えても構文の知識がないとうまく訳せないように、漢文も言葉の意味を覚えただけでは読解できない。英語の構文にあたるのが、漢文の句形である。高校の授業で一通り習う知識だが、いかにせん数が多いので、すべてを完璧に覚えるのは難しい。そのため、毎月2回目の必修テーマでは主要な句形を取り上げておさらいをしよう。

到達目標

■ 自分の苦手な句形、得意な句形を知ろう！

句形の種類ごとにチェックテストを用意したので、知識の抜け漏れがないか、確認しよう。

■ 早いうちに苦手な句形を克服しよう！

入試が近づいてくると問題演習に時間をとられてしまい、基礎事項の確認にはなかなか時間が割けなくなってしまふ。時間のある今のうちに苦手な句形を見極め、『SPEED 攻略10日間 国語 漢文』や『文脈で学ぶ 漢文 句形とキーワード』（いずれもZ会出版）などの文法書やドリルで対策しよう。

☑ チェックテスト

■ パートA

次の各文は訓点を省いている。すべて書き下し文にせよ。

① 吾当去此。

〔 〕

② 築台於邯鄲。

〔 〕

③ 将伝之於同好。

〔 〕

④ 无功而有大利者也。

〔 〕

⑤ 不宜伐我。

〔 〕

☑ チェックテスト

■ パートB

次の各文を書き下し文にせよ。

学習時間
20分

チェックテスト

■ パートC

次の各文を書き下し文にせよ。

- ① 夫子無^か所^し欲^し言^ふ乎。
- ② 子盍^や授^け宝^を。
- ③ 誰能得^べ之^を。

① 非^レ昼、莫^シ敢^テ進^ム。

② 決^シ不^レ可^シ前^ム。

③ 諸將不^レ敢^テ不^レ尽^ス力^ヲ。

④ 国未^ダ嘗^ハ不^レ榮^ズ也[。]

⑤ 遂^ニ不^レ復^ス反^ル。

チェックテスト

■ パートD

次の各文を書き下し文にせよ。

- ① 吏令^ニ人^ヲ作^ル米^ヲ。
- ② 為^ニ王^ヲ所^レ重^ム。
- ③ 天遣^ニ此^ノ君^ヲ作^ル詩^ヲ。
- ④ 有^レ功^モ亦^シ誅^ス。
- ⑤ 不^レ信^ズ乎^ニ朋友^ヲ。

④ 為^レ之^ノ奈^ニ何[。]

⑤ 余^ハ焉^レ能^ク戰^フ。

☑ チェックテスト

■ パートE

次の各文を書き下し文にせよ。

① 周公不_レ如_二太公之賢_一。

② 行莫_レ大_ニ乎無_レ過_一。

③ 功高、余孰_レ与_子。

④ 攻撃与_二和親_一孰便。

⑤ 寧為_二鶏口_一、無_レ為_二牛後_一。

解答

■ パートA

① 訓読……吾_{われ}當_{まさ}に此_{こゝ}を去_さるべし。

訳……私はここを立ち去らねばならない。

ポイント……再読文字「当」

② 訓読……台_{かんたん}を邯鄲_{かんたん}に築_{ちく}く(築_{ちく}す)。

訳……見晴らし台を邯鄲に建造する。

ポイント……置字「於」

③ 訓読……將_{まさ}に之_{これ}を同好_{どうこう}に伝_{つた}へんとす。

訳……これを同好の士に伝えるつもりだ。

ポイント……再読文字「將」、置字「於」

④ 訓読……功無_くして大利有_りる者_{もの}なり。

訳……功績がないのに大きな利益を得るような者だ。

ポイント……返読文字「無」「有」、置字「而」

⑤ 訓読……宜_{よろ}しく我_{われ}を伐_うつべからず。

訳……私を討伐しないのがよい。

ポイント……再読文字「宜」

■ パートB

① 訓読……昼に非_{はず}んば、敢_あへて進_{すす}む莫_なかれ。

訳……昼間でないならば、進もうとしてはいけない。

句形……仮定形、禁止形

② 訓読……決_きして前_{まへ}むべからず。

訳……決して進んではいけない。

句形……禁止形

③ 訓読……諸將 敢_あへて力を尽_つくさずんばあらず。

訳……諸将はどうしても全力を出さないではいけない。

句形……二重否定形

④ 訓読……国 未_なだ嘗_{かぢ}て榮_{さか}えずんばあらざるなり。

訳……今まで国で繁栄しなかったものはない。

句形……二重否定形

⑤ 訓読……遂_ひに復_{かへ}た反_{かへ}らず。

訳……そのまま二度と戻ってこなかった。
 句形……部分否定形

■パートC

① 訓読…夫子 言はんと欲する所無きか(や)。

訳……あなたは何か言いたいことがありますか。

句形…疑問形

② 訓読…子 盍ぞ宝を授けざる。

訳……あなたはどのようにして宝を授けないのですか。

句形…疑問形

③ 訓読…誰か能く之を得る。

訳……誰かこれを取れるか。

句形…疑問形

④ 訓読…之を為すこと奈何(せん)。

訳……これをするにはどうしたらよいか。

句形…疑問形

⑤ 訓読…余 焉くんぞ能く戦はん(や)。

訳……私はどうして戦うことができようか(いや、できない)。

句形…反語形

■パートD

① 訓読…吏 人をして米を作らしむ。

訳……官吏は人々に米を作らせた。

句形…使役形

② 訓読…王の重んずる所と為る。

訳……王に重用される。

句形…受身形

③ 訓読…天 此の君を遣はして詩を作らしむ。

訳……天はこの方を派遣して詩を作らせた。

句形…使役形

④ 訓読…功有るも亦た誅せらる。

訳……功績があっても死刑にされる。

句形…受身形

⑤ 訓読…朋友に信ぜられず。

訳……友人に信用されない。

句形…受身形

■パートE

① 訓読…周公は太公の賢に如かず。

訳……周公(の賢)は太公の賢に及ばない。

句形…比較形

② 訓読…行ひは過ち無きより大なるは莫し。

訳……行動は過失がないことより大きなものはない。

句形…比較形

③ 訓読…功高きこと、余は子に孰与れぞ。

訳……功績の高さでは、私はあなたと比べてどうか。

句形…選択形

④ 訓読…攻撃と和親と孰れか便なる。

訳……攻撃と和親とはどちらが都合か。

句形…選択形に近い疑問形

⑤ 訓読…寧ろ鶏口と為るとも、牛後と為る（こと）無かれ。

訳…むしろ鶏の口になったとしても、牛の尻にはなるな。

句形…選択形

弱点をチェック!

パートAで5問中3問以上間違えてしまった人は…

↓ 訓読法を復習!

パートBで5問中3問以上間違えてしまった人は…

↓ 禁止形・否定形を復習!

パートCで5問中3問以上間違えてしまった人は…

↓ 疑問形・反語形を復習!

パートDで5問中3問以上間違えてしまった人は…

↓ 受身形・使役形を復習!

パートEで5問中3問以上間違えてしまった人は…

↓ 比較形・選択形を復習!

XLAP2A-Z1A3-01

次の文章を読み、あとの問に答えよ。ただし、設問の都合により、送り仮名を省略した箇所がある。

(50点)

1 趙襄子使^ニ新穉穆子^ト攻^レ翟^ヲ。勝^レ之^ニ。取^リ左人^ト・中人^ト。使^シ遽人^ヲ謁^シ之^ヲ。襄子方食^シ而

有^リ憂色^ト。左右曰^ク、「一朝而兩城下^ル、此人之所喜也^ト。今君有^リ憂色^ト、何也^ト。」襄子曰^ク、「夫^レ江河之大^{ナルハ}

也不過^ス三日^ト、飄風・暴雨不^レ終^ル朝^ヲ、日中^ノ不^レ須臾^ヲ。今趙氏之德行^ハ、無^ク所^ニ於積^ム、一朝而兩城下^ル。

3 亡^ル其^レ及^レ我^レ哉^ト。」孔子聞^ク之^ヲ曰^ク、「趙氏其昌^ス乎^ト。」夫憂^ル者、所^ニ以為昌^ス也^ト。喜^ル者、

5 所^ニ以為亡^ス也^ト。勝^ツ非^ズ其難^キ者^ト也^ト。持^ス之^ヲ其難^キ者^ト也^ト。賢主以^テ此持^ス勝^ヲ、故^ニ其福及^ブ後世^ト。

(『列子』より)

注 * 趙襄子 春秋時代、晋の政治家であった趙無恤。「襄子」は諡。
* 新穉穆子 趙襄子の部下。
* 翟 春秋

時代の国の名。 * 左人・中人 翟の二要塞の名。 * 遽人 急報の使者。

問一 傍線1を口語訳せよ。

(15点)

問二 傍線2とはどういうことか、「江」「河」の具体的な名称を明らかにして説明せよ。

(11点)

問三 傍線3とあるが、「趙襄子」がどのように一族の未来を憂えたのはなぜか、問題文の内容を踏まえてわかりやすく説明せよ。

(14点)

問四 筆者は、「持^ス勝^ヲ」ためにはどのような態度をとるべきだと考えているか、記せ。

(10点)

問題

次の文章を読み、あとの問に答えよ。ただし、設問の都合により、送り仮名を省略した箇所がある。

(50点)

1 趙襄子使^二新穉穆子^一攻翟。勝^レ之。取^二左人・中人^一。使^二遽人^一謁^レ之。襄子方食、而

有^二憂色^一。左右曰、「一朝而兩城下、此人之所喜也。今君有^二憂色^一、何也。」襄子曰、「夫^二江河之大^一」

也。不過^二三日^一、飄風・暴雨不^レ終朝。日^二中^一不^レ須臾。今趙氏之德行、無^レ所^二於積^一、一朝而兩城下。

3 亡^レ其^レ及^レ我哉。」孔子聞^レ之、曰、「趙氏其昌乎。」夫憂^レ者、所^二以為昌^一也。喜^レ者、

所^二以為亡^一也。勝^レ非^レ其難者^一也。持^レ之其難者^一也。賢主^一以此持^レ勝、故其福及^二後世^一。

(『列子』より)

注 *趙襄子 春秋時代、晋の政治家であった趙無恤。「襄子」は諡。
*新穉穆子 趙襄子の部下。
*翟 春秋時代の国の名。
*左人・中人 『翟』の二要塞の名。
*遽人 急報の使者。

問一 傍線1を口語訳せよ。(15点)

チェック

問一 言い換えられている内容をつかむ

問二 比喩表現の意味する内容を押さえる

問三 本文の裏から意味をとらえる

問四 漢文常識や漢文の典型的な展開を踏まえて読む

問一 文脈から多義語の意味を推測する

漢文法実力診断

XLAP2A-Z1D3

総得点

33 / 50

三 XLAP2A-Z1C3

12 / 15

問一

ある朝二つの城が落ちたことは人が喜ぶことであ
いまあなたが心配している様子なのはどうしてであ

二朝はへやすかの間になどと短期間を表す意で訳出する。(3)

家老に向かて周囲の者があなたと呼びかけるとは考えにくいのであなた様など訳出しよう。(1)

必修テーマの確認
様々な意味をもつ何を文脈に合わせて理由を問う疑問の用法で訳せている。何れも他の用法については、今後の必修テーマでも紹介するので復習がてら取り組んでみてほしい。

7 / 11

問二

黄河と揚子江が大きいのは三日にすぎないといふこと。

「江河が大きい理由を、(嵐)など具体的に説明しよう。(3)

「三日にすぎない」は傍線部の言い換えにすぎないので、三日の意図するところを(ほん)の短期間であることと訳して説明しよう。(1)

C〔周囲の質問〕側近がその理由を質問する。(ℓ2) (↓問1)
D〔主人公による説明〕趙襄子は自然現象の例で諸行無常を示し、徳を積まずに得た勝利なので、この後、滅亡が訪れるのではないかと心配なのだ、と説明する。(ℓ2～4)

E〔まとめ〕これを聞いた孔子は、趙襄子を高く評価した。(筆者である私も同意見で)勝利を持続させるためには心配することが必要なのだ。(ℓ4・5) (↓問4)

D〔主人公による説明〕を受けての側近の反応は省略されている。また、**E**〔まとめ〕の部分は、漢文ではよくある構造だ。具体的なエピソードの後に世間の評価や筆者の評価を述べて、文章をまとめていく。これを知っていれば、最後の「夫憂者」以降の部分が筆者のコメントであるとすんなりわかるはずだ。
 次に、**D**の部分の構造を詳しく見ていこう。

(1)〔問題提起〕省略されている。

2〔分析〕そもそも自然現象で、勢力の最も強い状態が永続することはない。(↓問1)

3〔現状〕「今」、趙一族は徳を積んでいないのに短時間で勝利した。

4〔結論〕(自然現象と同様に、徳のない勝利は永続しないので)滅亡が訪れるのではないかと心配だ。(↓問3)

1〔問題提起〕の部分が省略されているが、おおむね典型的なパターン通り。すべてがパターン通りという文章はなかなか出てこないもので、臨機応変に読解しよう。2〔分析〕の部分では、「江河」「飄風・暴雨」「日」の三例に共通する点を見つけ、何を言うための例なのかつかむことが大切だ。

言い換えられている内容をつかめたか

テーマ問題 文脈から多義語の意味を推測できたか

問1 晋の趙襄子が部下に翟を攻めさせて、その二要塞を奪取した。

さて、使者が戦勝を報告してきた時、襄子はちょうど食事中であったが、それを聞いて顔色を曇らせた。側近が不審に思い、「なぜか」と尋ねた言葉が傍線1である。傍線部の送り仮名が省略されていて、多少面食らった人もいたかもしれない。しかし、必修テーマで復習した句形の知識を踏まえれば、前後の内容から意味を類推することはさほど難しくはないはずだ。ここは、「一朝にして両城下る、／此れ人の喜ぶ所なり。／今君憂色有るは、何ぞや」と訓読する。「／」でポイントを区切ってある。ポイントごとに訳し方を見ていこう。

■本文を分解して確認

・「一朝にして両城下る」

「一朝」には

①〈早朝・朝早く〉

②〈わずかの間〉

③〈いったん……であれば〉

問二 傍線2とはどういうことか、「江」「河」の具体的な名称を明らかにして説明せよ。

(11点)

問二
設問条件に合わせて
解答する

問三 傍線3とあるが、「趙襄子」がこのように一族の未来を憂えたのはなぜか、問題文の内容を踏まえてわかりやすく説明せよ。

(14点)

問三
解答要素を意識し、
それぞれに適切な字
数を割く

問四 筆者は、「持^ス勝^ヲ」ためにはどのような態度をとるべきだと考えているか、記せ。

(10点)

出典

『列子』『説符』篇(『呂氏春秋』『慎大』篇にも同じ話が掲載されている。)

列子は春秋・戦国時代の頃に、自然への復帰を志向した道家の思想家。その著書『列子』は、『老子』『荘子』と並ぶ、道家の考え方を述べた書である。この『列子』には、「杞憂」や「朝三暮四」といった有名な故事も掲載されている。

解答

問一 わずかの間に敵の二つの要塞が降伏しました、これは普通の人なら喜ぶことです。いまご主君が心配そうな表情をなさったのは、どうしてですか

問二 長江(揚子江)や黄河が氾濫して大きくなっても、その洪水の勢いが三日以上にわたって続くことはなく、いずれは元の流れに戻る、ということ。

問三

徳行を積んで敵を心服させたならば勝ちを持続するが、力で敵に勝ったのでは、勢いが衰えたり自分以上に強い者が現れたりすると、すぐに滅ぼされてしまうから。

問四 勝ったことにおごらず、謙虚に反省して徳のある行いに努める態度。

解説

今回の文章の概要

問題文は、戦に勝ったのに喜ばない趙襄子に対して側近が質問し、趙襄子がそれに答える場面。問答文であることを意識して、構造を見ていこう。

A [紹介] 趙襄子の指示による戦で勝利したという知らせが入る。(ℓ1)

B [主人公の行動] 趙襄子は喜ぶどころか心配そうな表情を示した。(ℓ2)

XLAP2A-Z1C3-04

- ④ 〈朝廷の人々全体〉
 ⑤ へ一度天子に目通りすること

などのさまざまな意味があるが、少し後でまた、「一朝而両城下」(れ3)とまったく同じ表現が出てくる。その直前で「德行は、積む所無くして(れよい行いを積み重ねてきたというわけでもないのに)」と言っているので、「一朝而両城下」はプラスの意味とわかる。それを踏まえると、この場合は②「へわずかの間」が最適。戦闘が短期間で終われば、兵士や兵糧ひょうりょうの消耗を最小限に抑えられる。

「而」は置き字になることが多いため、あまり気にしたことはないかもしれないが、以下のような原則がある。

「而」の用法

① 「而」が文頭にある場合

《順接》の場合

「しかシテ・しかうシテ」と読み、〈そして〉などと訳す。

《逆接》の場合

「しかルニ・しかレドモ・しかモ」と読み、〈しかし〉などと訳す。

② 「而」が文中にある場合

《順接》の場合

直前に読む語に送り仮名「テ・シテ」を送って読む。

例 飲^ミ酒^ヲ而^テ醉^ル。 〈訓読〉酒を飲んで酔ふ。

《逆接》の場合

直前に読む語に送り仮名「ドモ・ニ・モ」を送って読む。

例 飲^ミ酒^ヲ而^テ不^レ醉^ル。 〈訓読〉酒を飲めども酔はず。

この場合は、「而」が文中にあり、「一朝」と「両城下」が《逆接》でつながれるとは考えにくいので、「シテ」を送って読む。

「而」は〈二つ〉という意味。それを踏まえると、「両城」は一行目に出てきた「左人」と「中人」という二つの要塞を指すとわかる。「下」は「城下」という名詞の一部だと考えた人もいるかもしれないが、前後の文脈から考えると「両城下」は「人の喜ぶ所」であり、傍線部の前に「左人・中人を取り」とあるので〈落ちる・降伏する〉という意味になる。

・「此れ人の喜ぶ所なり」

「所^レA」は〈Aのもの・こと〉という意で、Aという用言を名詞にする働きをもつ。「所喜^ブ」で〈喜ぶこと〉の意。「所得」という熟語は、ここから来ている。今回の場合、「AのBする所と為る」という受身形と紛らわしいが、「為」がないため、受身にはならない。

今までの内容をまとめると、傍線1前半は〈へわずかの間に敵の二つの要塞が降伏しました、これは普通の人なら喜ぶことです〉となる。

・「今君憂色有るは、何ぞや」

「憂色」の「色」はここでは〈表情・顔つき〉の意で、ようするに「憂色」とは〈心配そうな表情〉のこと。「何」という疑問詞は、さまざまな意味をもつが、「何^レ也」というまとまりで節・文の末尾に出てきた場合は、〈どういうわけか・なぜか〉など《理由》を問う。すなわち傍線1後半は、〈いまご主君が心配そうな表情をなさったのは、どうしてですか〉という意になる。

XLAP2A-Z1C3-05

あつという間に敵の要塞を二つも降伏させたのだから、普通なら喜ぶべきことのはずなのに、心配そうな顔をしている趙襄子に、「左右(＝側近)」が尋ねた言葉である。「左右」は漢文でよく出てくる表現なので、知らなかった人は覚えておこう。

☑ 比喩表現の意味する内容を押さえられたか

☑ 設問条件に合わせて解答できたか

問二 傍線部「江河の大なるは三日に過ぎず」は、「河川が氾濫して流れが大きくなっても、それはせいぜい三日間くらいのことである」という意。直後の「飄風・暴雨は朝を終へず」「日の中するは須臾ならず」の二句とともに、「物事の最も勢い盛んな状態はいつまでも続くものではない」ということを具体的に述べているたとえであり、そこには「**そのうちまた元に戻る**」というニュアンスが含まれている。単に「物事は変化する」というだけではなく、物事の最も勢い盛んな状態に焦点が当たっていることに気づけただろうか。

ちなみに、他の二句も説明すると、「**はやてや激しい**にわか雨は、朝の間中ずっと続くということはない」(太陽が真南にあたるのは、ほんの一瞬にすぎない)ということである。「**須臾**」とは「**しばらくの間**」の意。これも「左右」同様によく出てくる言葉なので覚えておこう)。この三句を用いて、「**趙氏の勢いの盛んな状態はいつまでも持続しないのではないか、すぐに勢いが弱まってしまわないか**」という危惧を表したのである。この危惧については問三で問われているので、問二の解答に盛り込む必要はない。

なお、漢文においては、「江」が「長江(揚子江)」を、「河」が「黄

河」のことを指す。設問文に「具体的な名称を明らかにして」とあるから、解答にあたっては「**長江(揚子江)**」「**黄河**」とそれぞれ明示することを忘れずに。

■ 記述の方針

説明問題なので、最初に示した口語訳だけで終わらせてはいけない。何を言うための具体例なのかを考えて、「**そのうちまた元に戻る**」という要素を付け足そう。

☑ 本文の裏から意味をとらえられたか

☑ 解答要素を意識し、それぞれに適切な字数を割けたか

問三 問二の解説で述べたように、「力や勢い」というものは永続しない」と趙襄子は考えている。そして、「今趙氏の徳行は、積む所無くして、一朝にして両城下る」と述べている。「徳行」と要塞の降伏に何の関係があるのか一見わかりづらいので、本文の内容を肯定表現に変えて裏から考えてみよう。

徳行を積む(⇓徳行を積まない)

←

要塞が降伏

←

趙襄子は安心(⇓不安)

つまり、**徳のある行いを長年にわたって積み重ねた結果、それを慕って敵の要塞が降伏してくれば、趙襄子は安心して喜ぶというわけ**

である。なぜかという点、敵が自らの意志で降伏してきたのだから、**無理やり従わせた場合よりも、その勝利は長く続く**と考えられるからだ。しかし、現状は**力にものを言わせて奪取しただけ**である。ということは、**もし自らの力が弱くなったり、より強大な武力をもつ者が出現したりすれば、たちまち滅ぼされてしまうだろう**、と危惧しているのである。力におごると、心に隙が生じ、団結が弱まるという危険もありうるであろう。

■記述の方針

まずは、傍線部の「亡」に着目し、滅ぶ恐れがあるからという理由が直接の理由であることを押さえよう。次に、なぜ滅ぶのかという理由を書いて、解答を肉付けする。これだけでは解答欄が余ると思うので、最後に「今趙氏の徳行は、積む所無くして」という部分に着目し、滅ばない場合についても言及できれば完璧だ。

☑漢文常識や漢文の典型的な展開を踏まえて読めたか

問四 これまで見てきた内容を総まとめする設問だ。「今回の文章の概要」で確認した、**E**「**まとめ**」の部分を確認しよう。

孔子の言葉を書き下すと、「趙氏は其れ昌^{さか}えんか」となる。読解のポイントとなるのは「乎」。文末・句末の「乎」には次の四種類の用法がある。

- ①「か(や)」《疑問》《か》の意。
- ②「や」《反語》《か(いや、くない)》の意。
- ③「かな(か)」《詠嘆》《かだなあ・ことよ》の意。

④「や」《呼びかけ》《よ》の意。

ここでは「か」と読んでいたので、①か③の用法。孔子の言葉はここで終わっているため、《疑問》ではなく《詠嘆》で、「**栄えるだろうなあ**」という意味。《疑問》の場合は、後ろにその回答が続く場合がほとんどなので、見分ける際には意識しよう。

次に、孔子の高評価を受けて、「夫れ」以降で筆者の主張が述べられている。ちなみに「夫れ」「今」といった語は「発語の辞」と呼ばれ、(今までの話とは異なる)何か新しい話を始める際、文頭につける言葉である。つまり、「夫れ」「今」といった言葉が出てきたら、話題が変わったということだ。実際に、この文章でもここから筆者の主張が始まる。読解の際は見落とさないこと。

さて、筆者の主張の中で解答に関わりそうな箇所をピックアップして見ていこう。

・「憂ふるは、昌ゆるを為す所以なり。喜ぶは、亡ぶるを為す所以なり」

訳出のポイントは「所以」だ。「所以」には次の三種類の意味がある。

- ①〈原因・理由〉
- ②〈手段・方法・道具〉
- ③〈～するもの・～するためのもの〉

ちなみに、③の用法は用言を名詞化しているので、問一で見た「**所**」と同じ働きをもつ。

A この部分ではどの意味を入れても一応文意は通る。「全訳」では③

XLAP2A-Z1C3-07

の意味を選び、〈心配するということ〉は、繁栄への道である。喜ぶということとは、滅亡への道である」と、さらにこなれた表現にしている。つまり、ここで筆者は勝利に対して喜ぶことを戒め、その勝利が続かないのではないかと心配し、反省して次に備えることを説いているのである。

以上の内容と問三で確認した「徳行」についての内容を踏まえると、**〈勝ったことにおごらず、徳行を積むことで国を治め、いつも反省し、謙虚な態度を保持する〉**こととなるだろう。

「出典」で説明したように問題文の背景には道教の思想がある。たとえば、『老子』では、天下で最も柔弱な水が、岩のごとき堅強のものに打ち勝つことを取り上げ、柔弱で謙虚なあり方こそ真に強く、かつ永続的に人々を統治する要諦であることを説いている。強いことや秀でていることを誇らずに、かえってそれを自重して頼みとしない態度こそが、「勝を持つ」「常勝」の方法なのである。こうした中国の思想に関する前提知識があると、最後のまとめで筆者が何を言いたいのかわかむ際に役立つ。

訓読

趙襄子 新穉穆子をして翟を攻めしむ。之に勝つて、左人・中人を取り、遽人をして之を謁げしむ。襄子方に食して、憂色有り。左人曰はく、「1朝にして両城下る、此れ人の喜ぶ所なり。今君憂色有るは、何ぞや」と。襄子曰はく、「夫れ2江河の大なるは三日に過ぎず、飄風・暴雨は朝を終へず、日の中するは須臾ならず。今趙氏の徳行は、積む所無くして、一朝にして両城下る。3亡ぶること

其れ我に及ばんか」と。孔子之を聞きて曰はく、「趙氏は其れ昌えんか」と。夫れ憂ふるは、昌ゆるを為す所以なり。喜ぶは、亡ぶるを為す所以なり。勝つは其の難き者に非ざるなり。之を持するは其の難き者なり。賢主は此を以て勝を持す、故に其の福後世に及ぶ。

全訳

趙襄子が（部下の）新穉穆子に翟を攻撃させた。（新穉穆子は）翟に勝ち、左人・中人（の二要塞）を占領し、早馬の使者を送って、このことを（趙襄子に）報告させた。趙襄子はちやうど食事中であったが、（その報告を聞いて）顔を曇らせた。（そこで、）側近が「1わざわざの間二つの要塞が降伏しました、これは普通の人なら喜ぶことです。（それなのに）いまご主君が心配そうな表情をなさったのは、どうしてですか」と尋ねると、趙襄子は、「そもそも2長江や黄河が氾濫して大きくなっても、それが三日以上にわたって続くということはないし、はやてや激しいにわか雨が朝の間中ずつと続くということはない。（また、）太陽が真南にあたるのは、ほんの一瞬にすぎないのである。今、我々趙一族は、よい行いを積み重ねてきたというわけでもないのに、わずかの間に二つの要塞が降伏してきたのだ。（うっかりすると）3滅亡が我々に降りかかってくるのではなからうか」と答えた。孔子がこの話を聞いて言った、「趙一族は繁栄するだろうなあ」と。そもそも、心配するということは、繁栄への道である。（逆に、）喜ぶということは、滅亡への道である。（敵に）勝つのは、それほど難しいことではない。（しかし）勝ちを持続するのは困難なことである。（昔から）立派な君主というのは、この考えで勝ちを持続した。だから

ら、その幸福は後世にまで続いたのである。

まとめ

- ・ 言い換えられている内容をつかむ
- ・ 文脈から多義語の意味を推測する
- ・ 比喩表現の意味する内容を押さえる
- ・ 設問条件に合わせて解答する
- ・ 本文の裏から意味をとらえる
- ・ 解答要素を意識し、それぞれに適切な字数を割く
- ・ 漢文常識や漢文の典型的な展開を踏まえて読む

4
6/10

問四

立派な君主は心配であらざるに過ぎないようになりすべきである。

前後の文脈から、今、手にした勝利に慢心しない、勇を明確にする。

①

好徳行は積む所無くしては着目し、徳を積むという点も押さえるよう。

③

3
8/14

問三

趙氏は徳のある行為を積み重ね、城を攻め落とすので、一族もあつという間に滅ぶのではないかと考えたから。

傍線をも含む一文から導ける趙襄子の考え方を手掛りにして、人勢の盛んな状態はいつまでも持続するものではない、という点を押さえた。

②

城を攻め落とすとはどういうことか。敵に勝つという点まで踏み込んで説明する。

①